



第1回 SSIシンポジウム

未来に つなぐ命

～SSIの理念と取組～



2019.3.19 Tue. 15:00-20:30

@豊中キャンパス 大阪大学会館講堂・アセンブリー・ホール

●定員:先着250名 ■主催:大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI) ■協力:大阪大学21世紀懐徳堂
■後援:公益財団法人 稲盛財団、公益財団法人 サントリー文化財団、公益財団法人 松下幸之助記念財団

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的真理も追究するシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ(SSI)」を始動させました。SSIは「命を大切にし、一人一人が輝く社会」を目指し、各種プロジェクトを推進し、定期的にサロンを開くとともに、年1回、未来社会を構想するシンポジウムを開催します。

趣旨

2018年4月から本格始動したSSIの理念、取組方法、活動実績、今後の計画等を報告するとともに、社会課題の解決に向けて研究を進める方々、実際に現場で活動されている方々を交えて、今から30年後、2050年頃の日本や世界がどのような社会になるのか、どのような社会にすべきかを論じます。

プログラム

<第1部> (大阪大学会館講堂)

15:00～15:05 挨拶: 西尾 章治郎 大阪大学総長

15:10～15:55 基調講演: 堂目 卓生 大阪大学SSI長・大学院経済学研究科教授
「命を大切にし、一人一人が輝く社会を目指して -大阪大学のチャレンジャー-

16:00～18:00 パネルディスカッション: 「社会課題の解決を通じて見える未来社会」
(休憩15分含む) 稲場 圭信 大阪大学大学院人間科学研究科教授
大竹 文雄 大阪大学大学院経済学研究科教授
長 有紀枝 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会学部教授
開 梨香 株式会社カルティバイト代表取締役社長

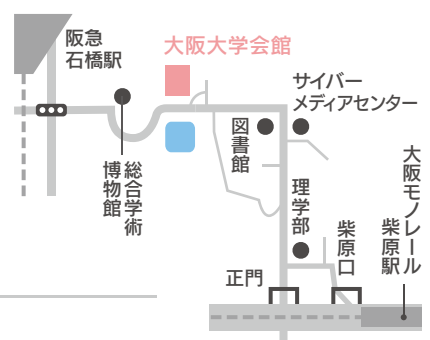
<第2部> (大阪大学会館アセンブリー・ホール)

18:30～20:30 懇親会(参加費2000円、事前申込必要)

申し込み方法

下記URLより、必要事項をご記入の上、送信してください。

<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/ssisympo1/>



基調講演： 堂目 卓生 (どうめ たくお)
 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長
**テーマ： 「命を大切にし、一人一人が輝く社会を目指して
 ー大阪大学のチャレンジャー」**

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長、総長特命補佐、大学院経済学研究科教授。経済学博士(京都大)。専門は経済学史、経済思想。特に産業革命期イギリスの知性史に関心がある。『The Political Economy of Public Finance in Britain 1767-1873 (Routledge, 2004)』で日経・経済図書文化賞、『アダム・スミスー「道徳感情論」と「国富論」の世界』(中央公論新社、2008)でサントリー学芸賞を受賞。



パネルディスカッション パネリスト

パネルテーマ：「社会課題の解決を通じて見える未来社会」

● 稲場 圭信 (いなば けいしん)

大阪大学大学院人間科学研究科教授

テーマ：「災害時の新たな支え合い」

地域資源(寺社・自治会)×科学技術」



宗教社会学博士(ロンドン大学)。専門は共生学、宗教社会学。SSIでは、地域資源とITによる減災・見守りシステムの構築プロジェクトを推進。宗教施設と指定避難所30万件のデータを集積した未来共生災害救援マップを構築・運営。著書に『利他主義と宗教』(弘文堂、2011)、『災害復興と宗教』(明石書店、2013、共著)、『災害支援ハンドブック』(春秋社、2016、共著)など。

● 長 有紀枝 (おさ ゆきえ)

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会学部教授

難民を助ける会(AAR Japan)理事長

テーマ：「難民の世紀に生きる私たちの視点」



東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム博士課程修了。博士(学術)。内外の難民や被災者支援に携わる。主な著書に『入門 人間の安全保障ー恐怖と欠乏からの自由を求めて』(中央公論新社、2012)、『スレプレニツァ あるジェノサイドをめぐる考察』(東信堂、2009)。ホームページ<https://osayukie.com/>にコラム等掲載中。

● 大竹 文雄 (おおたけ ふみお)

大阪大学大学院経済学研究科教授・栄誉教授

テーマ：「エビデンスに基づく政策形成」



博士(経済学)。専門は、労働経済学、行動経済学。SSIでは、医療分野における行動経済学の活用や教育の効果測定にプロジェクトを推進。『日本の不平等ー格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞などを受賞。近著に『競争社会の歩き方』(中公新書)『医療現場の行動経済学』(東洋経済新報社、共編著)など。

● 開(比嘉) 梨香 (ひらき(ひが) りか)

株式会社カルティバイト代表取締役

テーマ：「今こそ求められる離島の潜在力」



琉球大学在学中から放送局等で制作プロデュースを学ぶ。多様な事業の実践を通して、体験交流活動や地域の魅力に目覚め、日本エコツーリズム協会設立メンバーとして普及啓発に携わる。子どもと離島の活性化を夢みて日々奔走中。日本エコツーリズム協会理事・企画委員。元沖縄県教育委員長。

● モデレーター： 栗本 英世 (くりもと えいせい)

大阪大学 SSI 副長・副学長(学生生活担当)・大学院人間科学研究科教授

文学修士(京都大学)。専門は社会人類学、アフリカ民族誌学。南スーダンとエチオピアで長期間フィールドワークに従事。紛争、内戦、人道援助、平和構築等に関心がある。著書に、『民族紛争を生きる人びと』(世界思想社、1996)、『未開の戦争、現代の戦争』(岩波書店、1999)、編著に、『共生学が創る世界』(大阪大学出版会、2016)など。

